

# 内部通報制度の最新事情

## ～有効に機能する制度の運用と今後のあり方について

内部告発(外部第三者への通報)促進を含めた制度改革の流れは加速しており、内部通報制度を取り巻く経営環境は大きく変わっています。不祥事を早期に発見し、未然に防止するためにも、内部通報制度の適切な運用は、今後の企業価値向上にとって不可欠といえます。本セミナーでは内部通報制度についてだけでなく実運用について具体的事例をまじえて解説いたします。

**内部通報窓口  
「超実践」ハンドブック**

2016年12月発行  
株式会社エス・ピー・ネットワーク

「リスクの早期発見・早期対応は  
内部通報制度の活用により！」  
クライシスを未然防止するために  
3000件を超える通報から導き出された  
内部通報担当者向け実務書

新刊書籍付

株式会社エス・ピー・ネットワーク著  
「内部通報窓口『超』実践ハンドブック」  
3,024円(税込) 2016年12月発売

大阪  
2016  
**12/6** (火)

14:00～17:15  
(受付開始13:30)  
定員:50名

TKP 大阪心斎橋カンファレンスセンター  
大阪府大阪市中央区南船場4-3-2 御堂筋 MID ビル  
【アクセス】  
大阪市営地下鉄御堂筋線「心斎橋」駅  
3番出口 徒歩2分

東京  
2016  
**12/20** (火)

14:00～17:15  
(受付開始13:30)  
定員:100名

フクラシア東京ステーション K 会議室  
東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル  
【アクセス】  
JR「東京」駅日本橋口徒歩1分  
東京メトロ「大手町」駅B6出口直結

対象者：取締役、監査役、法務・コンプライアンス担当者、総務部門担当者 等

参加費用：10,000円(書籍付・税別)

### プログラム

#### 第1部

- 内部通報制度を取り巻く経営環境**
  - ・公益通報に対応する体制を整備する必要性
  - ・公益通報者保護法改正審議の最新動向
- 内部通報・内部告発者を支援する立場から**
  - ・社員はなぜ得にもならない通報を行うのか
  - ・社員はどのような対応をとれば満足するのか
- 内部通報・内部告発に向かい合う企業の立場から**
  - ・内部通報制度に関する事業者向けガイドラインの活用
  - ・不適切な対応によるリーガルリスク

#### 第2部

- 実際の事例ー3000件を超える通報から見えてくるもの
- 公益通報者保護法を踏まえた内部通報窓口運用のポイント
- アンケート、座談会から見えてきた内部通報窓口運用の留意点

#### 第3部 パネルディスカッション

### 講師紹介

弁護士・公認不正検査士

山口 利昭 氏



1985年大阪大学法学部卒業。1990年弁護士登録。1995年山口利昭法律事務所開設。日弁連業務改革委員会企業コンプライアンスPT幹事、大阪弁護士会業務改革委員会委員、日弁連司法制度調査会委員社外取締役ガイドライン検討チーム幹事。2013年より株式会社ニッセンホールディングス 社外取締役、大東建託株式会社 社外取締役(現任)。ブログ「ビジネス法務の部屋」(<http://yamaguchi-law-office.way-nifty.com/>)は、弁護士、公認会計士、企業法務担当者など幅広い層から支持を得る。著書『ビジネス法務の部屋からみた会社法改正のグレーゾーン』(レクシスネクシス・ジャパン、2014)ほか多数。

株式会社エス・ピー・ネットワーク  
取締役 総合研究室 主席研究員

芳賀 恒人 氏

東京大学経済学部卒業。リスクアナリストとして数多くの企業危機管理事案を手がける。暴排分野を中心に、コラムの執筆、セミナー講師等幅広く活躍する。

株式会社エス・ピー・ネットワーク  
総合研究室 主任研究員(部長)

西尾 晋 氏

各種企業不祥事対応支援から企業の内部統制システムやコンプライアンス体制構築支援、悪質クレーム対応、事業継続マネジメントシステムに関するコンサルティングや実務支援まで幅広いコンサルティングを手がける一方、当社内部通報第三者窓口「リスクホットライン」を管掌する。書籍やコラムの執筆のほか、セミナーや大学での講義も数多く担当。

#### 問い合わせ先

レクシスネクシス・ジャパン株式会社 セミナー担当  
TEL : 03-5561-3654  
E-mail : seminar@lexisnexis.co.jp

#### お申込

レクシス セミナー

検索

<http://www.lexis-seminar.jp/>

**SPN** Security Protection Network **LexisNexis**

主催：株式会社 エス・ピー・ネットワーク  
後援：レクシスネクシス・ジャパン株式会社